

## 黒田庄まちづくり協議会より ＜秋谷公園遊歩道の景観づくり＞

観光レクリエーションゾーンづくりとして、昨年度に秋谷公園遊歩道の老朽化した木橋の解体作業と新しい木橋の設置作業を行いました。本年度は秋谷公園遊歩道の景観づくり(庵谷池東湿地帯歩廊保守管理)のため、木橋の防腐塗料塗布作業と樹木植栽作業を行いました。

3月8日(金)には観光・特産部会委員ほか数名で、遊歩道の荒地に植樹用の資材を搬入し、オリーブ3本・ヤブツバキ4本を植樹しました。また、樹木の周りには鹿食害防止金網を設営しました。



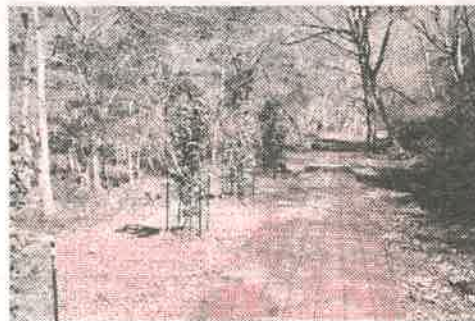
資材搬入



植樹



鹿食害防止金網設営



完成  
(観光・特産部会)

第154号3月



## ＜黒田庄子ども見守り活動隊発足会開催予告＞

近年、子どもたちを取り巻く環境は、マスコミ等で報道されているとおり、痛ましい事件・事故が発生し、危険に満ち溢れています。

また、このような事件・事故はいつどこで起きるかわかりません。将来を託されている子どもたちが健やかに安全で安心して生活できることを保証することが、我々地域にできることではないかと思います。

このような事件・事故の未然防止の一助となるよう子ども見守り活動の体制を整え、黒田庄地域全体で子どもたちを見守り育てていくことが急務であると考え、黒田庄子ども見守り活動隊を結成し、子ども見守り活動を推進していくことが重要であります。

先般より、子ども見守り活動参加者を募り、現在83名の方に登録いただいております。来る3月20日(水)に黒っこプラザに於いて、「黒田庄子ども見守り活動隊発足会」を開催します。



(くらし安心部会)

編集・発行  
黒田庄まちづくり協議会  
西脇市黒田庄町前坂2140番地  
Tel 28-2121  
平成31年3月15日発行



黒田庄地区の人口  
(H31.3.1現在)  
男 3,292  
女 3,502  
計 6,794  
世帯数 2,625  
人口前月比 (0)



(2)

## ★第2回ありがとうコンサート開催★ リンクスマイル・マザーズマイル共催

3月2日(土)に黒っこプラザ大ホールに於いて、第2回ありがとうコンサートを開催しました。今回は「大切なあのひとにありがとうの思いを伝えたい」をテーマに、新井宗平さん・山本かずみさんをお招きし、素敵な歌やご自身の子育て経験を交えたトークをしていただきました。

このコンサートは、黒田庄まちづくり協議会及び西脇市市民提案型まちづくり事業の助成金を受けて開催し、約140名の方にお越しいただき、コンサートは大盛況となりました。

今後も、子育てを通じた様々なイベントを開催していきたいと思えます。



手話付きの歌を観客全員で歌い、会場は大いに盛り上がりました。



お兄さん・お姉さんの笑いあり涙ありのトークは「感動した」とのお声を多くいただきました。



最後は子どもたちが登場し、「ありがとうの花」を一緒に歌いました。



帰りには、ありがとうカードのついた花をプレゼントとして持って帰っていただきました。

## ★黒田庄地区人権のまちづくり研修会開催★ 黒田庄地区人権のまちづくり協議会

去る2月10日(日)に岡あいあいセンターに於いて、第3回人権のまちづくり研修会を開催しました。「私たちにできること」をテーマに、県立西脇北高校ボランティア部・県立柏原高校インターアクト部の皆さんに実践発表していただき、その後グループに分かれての話し合いをしました。



高校生たちによる実践発表



高校生たちによる実践発表



高校生を囲みグループ討議

### ＜参加者の感想＞

①「ボランティアは自分の成長でもある」ということが心に残った。	50代
②久しぶりに地区内の色々な方に出会えて、嬉しかったです。たいへん勉強になりました。	60代
③今日のような世代をこえた交流の機会、大切だなと思いました。	60代
④ボランティアに対する考えが変わりました。独創的な活動や高校生の成長を知ることができて、よい機会になりました。	40代

⑤

- ・西脇北高校ボランティア部  
東日本大震災が発生した11年から毎年、被災地支援のため現地に赴いて被災地と交流を深めている。地域では催しの手伝いや清掃など年間100回ほどのボランティア活動に取り組んでいる。
- ・柏原高校(丹波市)インターアクト部  
障がいのある観光者にとっても優しい地域になるように、車いす使用者の視点にたって車いす観光マップの作成に取り組んでいる。他にも市内在住の外国籍の方との交流など幅広く活動をしている。



寒波とインフルエンザが猛威をふるった厳しい冬も節分の頃から収まってきました。3月を迎えた今では梅が咲き乱れ桜の芽も膨らんできました。工房利用者の皆さんもラジオ体操に散歩、そして作業に活気が見えてきました。

さて、障がい者に関わるニュースが今年に入って何件かありました。その中でも注目したのが、皆さんもご存じかと思いますが過去の人間の営みの跡である城の保存と活用をめぐる出来事でした。世界遺産である京都の二条城は、広い城内が砂利道で車椅子が動きにくく高齢者も歩きにくいことから、「舗装をすべきだ」との意見が出ていました。それに対して「風情とか文化財の価値を損なう」との意見がありました。城内では電動アシストの貸出で対応しているようですが、文化財の保護や世界遺産であることから舗装もなかなか難しいようです。もう1件は、コンクリートで再建されている名古屋城が、老朽化のため木造天守の再建を目指しています。でも、そこにはエレベーターが設置されないことになり障がい者等から反発を受けているというものです。現在江戸時代以前から残る木造天守は12城あり、いずれもエレベーターが設置されていないそうです。(コンクリートで再建したものはエレベーターなどバリアフリー化)「史跡の価値を適切に保存し、次世代に確実に伝えることが大切だ。」とか、「現在の城は史跡であって軍事施設ではない。史跡復元はすべての人に開かれるべきだ。」とか賛否双方の意見がありました。この2件、皆さんはどう思われますか。(参考:NHK ニュース・朝日新聞)



### <黒田庄こども園ニュース>

#### <お茶会>

3月1日(金)に、今年も「お茶会」をしました。

裏千家 門上きく氏の指導のもと、4・5歳児が「茶道」にチャレンジです。



<厳肅な?お茶会>

伝統文化に触れるとともに、地域の方々とのふれあいを目的に、緊張しながらも、抹茶や和菓子をいただき、簡単な作法も習いました。地域の方々も30名余りご参加いただきました。ありがとうございました!!

畳の上での正座、少し苦い抹茶など、普段経験できない貴重な体験をさせていただきました。2度目の5歳児は、さすがに作法が出来て?いました。園児たちは、まるで「茶道家??」になったようでした!



#### お知らせ) 「黒田庄こども園園章」決定!!

昨年末の11月中旬から募集しておりました本園の園章は、17作品(5歳~91歳)の応募があり、職員・本園の理事さん等にご選考いただき、右の園章に決まりました。

最優秀賞は、大門の神月信三さんです。

おめでとうございます! 賞品をお送りいたします。

この園章は、園の紹介パンフレットや園旗に活用させていただきます。応募いただいた皆さん本当にありがとうございました。





(4)

## 西脇市消防団火災防ぎょ訓練実施

去る2月24日(日)午前7時30分より黒田庄町岡の福谷公園に於いて、春季火災予防運動に伴う西脇市消防団火災防ぎょ訓練が開催されました。

黒田庄地区14部が所属する第7分団の団員約90人が、「強風・乾燥注意報が発表されている中、福谷公園周辺の山林から出火、強風にあおられ周囲へ延焼拡大し、さらに南側山林へ延焼のおそれありという大規模な山林火災」を想定し、放水や情報伝達の訓練に取り組みました。

先ず、先行隊が消火活動を行い、延焼阻止のため応援隊が加わり、福谷池からの取水、ホースの延長や中継、放水の流れを確認しました。そして、黒田庄地区の各区長が消防団の日頃の訓練成果を見学されました。

訓練後、東田新吾西脇市消防団長は「空気が乾燥し、枯れ草も多く、山林火災の危険性が高い時期。被害を最小限に食い止められるよう、日頃から心掛けてほしい」と訓示しました。



## 西脇市老人クラブ連合会芸能発表会

去る1月25日(金)に黒っこプラザに於いて、西脇市老人クラブ連合会(若手委員会主催)の芸能発表会が開催されました。2階大ホールでは、自慢の喉やマジック・舞踊等28組の熱演に舞台と観客席が一体となり、大きな拍手と笑顔に包まれた素晴らしい時間を過ごされていました。黒田庄地区からも4組の方が出演されていました。

また、会場外では、会員持ち寄りのバザーも開催し、集まった収益は東日本大震災の支援に活用されます。



カラオケ 望郷波止場



大正琴 お富さん他



舞踊 北海おとこ船



カラオケ津軽慕情

### 編集後記

寒い冬を越すと、いよいよ待ちこがれた春がやって来ます。休日に、運動不足解消にウォーキングに出ると、堤防で風に揺れる青い小さな花「オオイヌノフグリ」を見つけ、季節感を感じることの少ない日常の中で、春に出会えて嬉しい気持ちになりました。食に関しても、野菜を初めとする食材が一年中出回り、生活の便利さと引き替えに季節の食材を口にする機会が少なくなったと感じています。これから、たらの芽、たけのこが出てきます。季節の食材を取り入れた料理を作り、目と舌でも春を感じたいと思います。後になりましたが、一年間広報部会でお世話になり、ありがとうございました。

Y. F